

## Google Cloud上のミッションクリティカルなVMwareワークロードのモダナイズおよび管理

### ハイライト

- キンドリルの自動化、IPを推進させる資産、Google Cloud VMware Engine (GCVE) API を活用して、VMwareワークロードをGoogle Cloudに迅速にプロビジョン、拡大し、セキュリティ、パフォーマンスとコストを最適化します。
- キンドリルとVMwareの20年以上の専門知識を活用した、複雑なハイブリッド環境における評価、移行、実装、管理、モダナイズ、変革のための共同のソリューションを提供します。
- 99.99%の可用性でGoogle Cloud上における高レベルのVMwareサービスのメリットを享受できます。
- Google Compute EngineやGoogle Kubernetes Engineと同様のアクセス体験をネイティブサービスとして提供し、VMwareワークロードをビジネス変革する迅速な方法を提案します。

企業がパンデミック後の世界に適応していく中で、リモートワークとデジタルタッチポイントを長期的に導入することが重要となることは間違いありません。

それでも、複雑さ、予算の制約、ダウンタイムに関する懸念などの要因により、多くの企業でクラウドの導入が遅れています。

キンドリルのGoogle Cloud VMware Engine向けクラウドサービスは、ワークロードの評価、設計、実装、移行、管理に加え、Google Cloud データセンター全体にわたりアプリケーションを構築およびデプロイするモダナイズにも役立ちます。3日間にわたるライフサイクルサポートサービスを通じて、VMwareおよびGoogle Cloudとの統合をカスタマイズし、アプリケーションの管理とモダナイゼーションを支援します。これらのサービスは柔軟で便利な従量課金制で、サービス品質を一貫して保つための強力な分析機能と自動化機能を含んでいます。

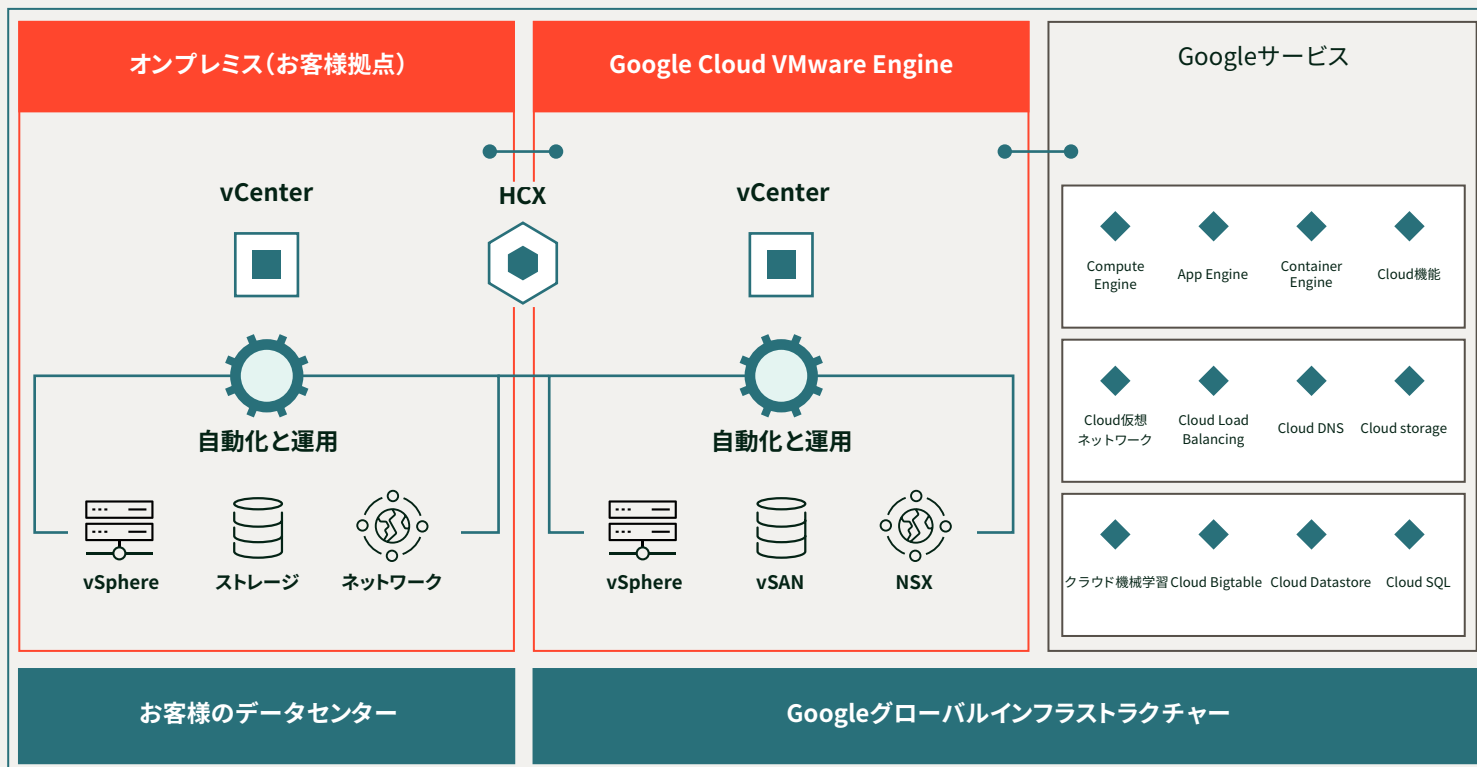


図1: Google Cloud VMware Engine

## キンドリルがもたらすメリット

- お客様の環境に一貫性をもたらし、コストとリスクを軽減しながらタイムラインと品質を向上させるためにワークロードを移行
- Tanzuコンテナ化とGoogleのクラウドネイティブサービス(Anthos統合を含む)を使用してVMwareワークロードをモダナイズすることで、生産性を強化
- 実装を加速し、運用ライフサイクル全体にわたってテクノロジーとサービスを統合し、管理を簡素化
- 5000人のGoogle認定をもつ専門家と6,000人以上のVMware専門家を有し、Google Cloudドメイン全体にわたるグローバル展開によるメリット
- 脅威対策を統合するサイバーレジリエンシー、データ管理機能と分析マネージドサービスを備えたGoogleの世界規模の光ネットワーク上のセキュリティ
- 契約やリースの期限切れ、ハードウェアやソフトウェアのサポート終了、新しい法令などの条件遵守に関連するタイムライン、合併や買収など対応が必要な事象への対処

## Google Cloud上でVMware環境を迅速にプロビジョン

GCVEは、Googleによって販売およびサポートされている完全準拠および認定されたフルスタックのクラウドインフラストラクチャーです。Google Cloud上の専用ソフトウェア定義データセンターに構成され(図1参照)、現在使用しているものと同じアプリケーション、ツール、プロセス、ポリシーをデプロイし続けることができます。



## Google Cloud Engineによる実際の効果<sup>1</sup>

- 平均TCO削減幅: 38%
- 3年間の平均削減額: 215万ドル
- 削減までの平均時間: 11.2ヶ月

## GCVEに移行する企業の背景

Googleは、AI分析を使用して、グローバル・ドメインネーム・システム (DNS) およびAnyCast IPアドレスを介してトラフィックを高速でルーティングし、ユーザー体験を向上させる完全に統合されたサービスを提供しています。追加コストのかからないこのサービスは、GCVEと統合されているため、お客様がボーダー・ゲートウェイ・プロトコル (BGP) と生存時間 (TTL) を管理する必要がなくなります。

VMwareは、Kubernetesを活用してアプリケーションをモダナイズしようとしているお客様にとって最適といえます。Kubernetesの業界リーダーとしてGoogleは、統合されたモダナイゼーションサービスへの即時アクセスを提供しています。オンプレミスのデータセンターからBigQueryやLookerなどの完全に統合されたデータ・エンリッチメント・サービスに移行することで、お客様はVMwareに接続されたデータソースから洞察を得ることができます。

お客様が復旧時間の短縮とデータ損失軽減による災害復旧 (DR) を目指す際には、Google Cloudの自動化機能を活用することもできます。GCVEでのデータ同期中に、既存のバックアップおよびDRツールを統合するためのESXiハイパーバイザーへのルートアクセス権限を提供し、ワークロードのプロビジョニングを自動化して、復旧を行うために必要なワークロードのみをお客様が実行できるようにします。検証または復旧イベントの際には、より多くのリソースを迅速に追加することができます。Google Cloudは、GCVEでストレージのみの不揮発性メモリーストレージ (NVME) ノードも提供しており、コンピュートとメモリに依存せずストレージの拡張を可能にします。

VMwareワークロードをクラウドにリフトおよびシフトし、変革する間、妥協をする必要はありません。Google Cloudを使用すれば、迅速にリフトおよびシフト、変革の実現が可能になります。複雑さをさらに軽減するために、Google Cloudはサポートと請求をそれぞれ単一仕組みで提供します。世界で14の拠点から選択でき、アプリケーション、ツール、プロセスを変更することなくGoogle Cloudに移行できます。

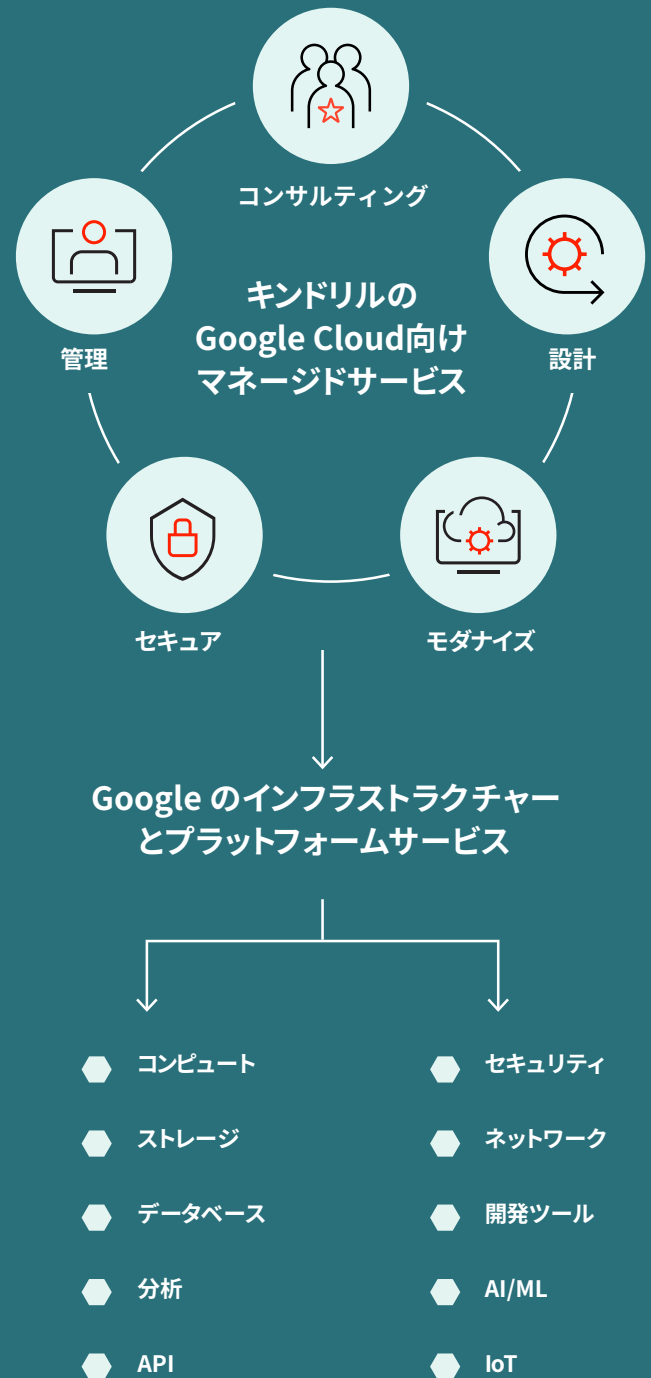


図2: キンドリルのマネージドサービスによるクラウド導入と変革ライフサイクルのトータルサポート



## キンドリルの次世代パブリッククラウド・マネージド・サービス

キンドリルは、多様性、速度、ボリュームに応じて拡張できるGCVEプラットフォームの構築を支援します。キンドリルのGCVE向けクラウドサービスは、お客様のVMware環境のプロビジョン、移行、管理、および最適化に役立つモジュラー機能をカタログベースで提供します。このサービスは、インフラストラクチャー変革およびアプリケーションモダナイゼーションを支援するクラウドエンジニアリングソリューションです。キンドリルは、テクノロジーをビジネス推進と連携させ、クラウド移行全体において迅速な価値、俊敏性、効率性、予測可能性、セキュリティを実現するロードマップの策定に重点を置いています。

## キンドリルの優位性

キンドリルには最大のVMwareフットプリントがあり、多くの仮想マシン (VM) を管理しています。

- 世界最大級のITインフラストラクチャーサービス企業
- フォーチュン100企業の70%以上、フォーチュン500企業の50%以上を占める世界中で4,000社のお客様
- 重要なIT環境を設計、構築、管理してきた30年もの経験
- 3,000件を超える特許、31,000件以上の業界認定資格、Google Cloudに関する5,000件を超える認定資格、21の専門領域、クラウド移行の専門家を備えたGoogle Cloudの急成長パートナーのうちの1社

クラウドからアプリケーション、データ、AIに至るまで、175か国以上でキンドリルのサービスを利用することができます。世界中のパートナーとともに、私たちは今までにはない価値をもたらします。

## 重要な業界におけるIT環境管理してきた深い経験値



**45%**

の自動車メーカーをキンドリルが支援しています。



**49%**

のモバイル接続がキンドリルのお客様によって管理されています。



上位50行で管理されているIT資産のうち

**61%**

はキンドリルのお客様が管理しています。

## キンドリルをおすすめする理由

キンドリルには、世界に必要な不可欠なテクノロジー・システムをデザイン、構築、運用する豊富な専門知識があります。キンドリルの約90,000人の熟練した専門家は、世界100か国以上で4,000社を超えるお客様にサービスを提供して、お客様の成功に尽力し、お客様と協力して、大志の実現を後押ししています。私たちは、新たな方法でシステムを作り出すことで優れた基盤を構築しています。適切なパートナーを選定し、ビジネスに投資し、クライアントとともに課題に向き合い、新たな可能性を解き放ちます。

## 詳細情報

キンドリルのGoogle Cloud向けクラウドサービスの詳細については、キンドリルの担当者にお問い合わせいただくか、[kyndryl.com](https://kyndryl.com)よりご確認ください。



© Copyright Kyndryl, Inc. 2023

キンドリルは、米国およびその他の国におけるKyndryl, Inc. の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ Kyndryl Inc. または他社の商標である場合があります。

VMware は、米国およびその他の国における VMware, Inc. またはその子会社の登録商標です。

本資料は発行時点で最新のものであり、キンドリルが随時予告なしに変更する可能性があります。キンドリルが事業展開するすべての国で、全製品もしくはサービスが利用できるわけではありません。キンドリルの製品およびサービスは、提供されている契約書の条件および制約に基づき保証されます。

記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。

1 [Google Cloud VMware Engine Saves Over 45% on TCO in First Study](#), VMware, 2021年7月